



発行所 長岡鉄工業青年研究会
 発行責任者 井上 航
 編集責任者 清水 一裕

編集者 淳史・猪俣洋志
 塚侑大・田中祐樹
 大門倉本直輝

事務局 新潟県長岡市表町3丁目1番8号
 リナシエビル3 8階
 長岡鉄工業青年研究会
 TEL 0258-36-6982
 印刷所 ㈱北越時報社 長岡市住吉2丁目5番13号

新年度を迎えて

長岡鉄工業青年研究会
 二〇二二年度会長 阿部 修平



お願い申し上げます。

二〇二二年度長岡鉄工業青年研究会会長を務めさせていただきました。株式会社阿部商店の阿部修平です。一年間、宜しく

お願ひ申し上げます。昨年度、大きな節目である発足五十周年を迎えた歴史と伝統のある当会の会長職を務めるにあたり、身の引き締まる思いであります。当会が今後五十五周年、六十周年、ゆくゆくは百周年を目指す第一歩としての大事なスタートの一年となるよう、改めて基本に立ち返って全力を尽くしてまいります。

さて、昨年は東京二〇二〇オリンピック・パラリンピックが開催され、新型コロナウイルスによる開催前の「不安含みの期待」から、開催後の「感動や安堵の声」への変化や、国内ワクチン接種率が八割を超え、明るい話題も増えつつ国内経済活動の再開が期待されていきました。しかし、年が明けた一月から急激に感染者数が増加し、またしても先行きの不透明感が強まっています。一方鉄鋼業界は脱炭素社会に対応する産業構造転換を迫られており、また、中国を震源とする史上最高の原料物価に直面し、記録的に高騰する鋼材市況を受け、社会・経済環境が大幅な変化の真只中にあります。

この様な変革期において今、企業や経営者・リーダーが将来へ向けて先ず始めに身

につけなければならぬことは基礎固めを徹底することだと考え、二〇二二年度のテーマについて、根本をしっかりと固めて揺るがない様にするという意味の「深根固柢」という言葉にしました。自分自身も基礎を固めるとともに、鉄工青研の未来の為の大事な一年となるよう活動してまいります。

一、人材育成、会員増強

日本国内のみならず世界で様々な企業が存続の危機に直面している中、我々中小企業の存続はリーダーのリーダーシップ次第と言われております。当会の活動を通じて、人格の磨き方、リーダーとしてのあり方、人との付き合い方を学び、今後の青研活動や自社の企業経営に活かしていただきたいと考えています。

また、会員数減少を重大な課題とし、現役会員が積極的な会員勧誘活動を行うとともに、OB会員の諸先輩方も危機意識を共有し、会員増強を図るよう努めてまいります。もしもご興味を示されている方がおられましたら、ご一報いただければ幸いです。

二、交流の復活

未曾有の災禍の中、約二年間にわたり交流活動にも制限がかり、関係者各位の皆様との交流が希薄になりました。しかしながら感染症防止対策の方法も確立され、ワクチン接種も進んできました。かねてより交流させていただいております中越

の皆様、また、会員同士の交流の機会を復活させたいと考えています。現在新型コロナウイルス感染症の第六波という予断を許さない状況ではありますが、感染症防止対策を十分に講じた上で、事業を企画し運営してまいります。

三、地域貢献、渉外事業

本年度も地域貢献事業として、OB会員の皆様や趣旨にご賛同いただいた皆様、会員企業のご協力のもとで行われる「屑鉄集め」を例年同様実施いたします。当事業の際にはご協力の程、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止されている「長岡まつり平和祭慰霊神輿渡御」ですが、開催される際には感染症対策を講じた上で参加したいと考えております。万が一、残念ながら中止となった場合にも、伝統ある青研神輿を囲み、神輿渡御とゆかりのある方々と交流出来る事業を企画します。

以上の事業を柱として当会を運営してまいります。本年度は五十一周年という、新たな周年へ向けてのスタートを切る年となります。会員の皆様には、当会が未来に向かって存続し続けるためにも、改めて基礎を固め、自らの成長に繋がる一年となるよう積極的な事業への参加をお願いいたします。

一年間、何卒宜しくお願ひ申し上げます。



一年を振り返って

長岡鉄工業青年研究会
二〇二一年度会長
井上 航



二〇二二年度会長を務めさせていただきました株式会社井上高速機械の井上航でございます。今年度は、鉄工青研の大きな節目となる五十周年にあたる年でした。歴史ある事業を継続し、目の前の事業を推進し続ける必要があると考え「継続推進」をテーマに一年間活動してまいりました。

まず、私が会長職に決まった際に思った事は、二〇二〇年度同様に新型コロナウイルスの影響がある状況にて、例年通りの事業を行うにはどうしたらよいか。五十周年記念式典・講演会を執り行うためには、何から準備をすればよいか。私の会長職は緊張と不安の思いから始まった事を覚えています。

五十周年記念誌作成では、多くのOB企業様、会員企業様にて御協賛を賜りました。記念式典・講演会の当日にお披露目する事ができました事、この場をお借りしまして御礼申し上げます。

毎年八月一日に行われます長岡まつり平和祭慰霊神輿渡御は、今年度も新型コロナウイルスの影響により中止となつてしまいました。二年連続のまつり委員を務められました真保まつり委員長と二人で馬に立つことは叶いませんでしたが、長岡神輿協議会様発信のもと、アオーレ長岡にて神輿を展示させていただき、コ

ロナ禍の制限がある状況でも当会を市民の皆様へアピールできたのも良い思い出です。

そして、会長職として避けては通れない道としまして事業の度に「挨拶」が重要です。周年の年ということで御来賓や諸先輩方をお招きする機会が多く、特に記念式典・講演会の挨拶は周年会長を託された大役と言えるでしょう。しかしながら、私が最も苦手とするのが公の場での挨拶です。四十五周年の時に会長を務めておりました、OB会員の山崎前会長の堂々とした挨拶を私は忘れた事がありませんでした。当日は、現役会員のご協力の甲斐あつて記念式典・講演会を執り行う事ができました。挨拶の時では、人生で一番緊張した事は間違いなく、一生思い出として残るでしょう。

このように鉄工青研では多くの経験を積む事ができます。事業の計画から書面の作成、事業報告など企業に還元できる場が備わっております。特に役員経験をされていない方、これから鉄工青研に入会していただける方には、是非とも役員、何れは会長職をお勧めいたします。

二〇二二年度は阿部会長の下、新たな歴史の幕開けとなる年です。コロナ禍で出来なかつた事、挑戦したい事があると思います。そして今後、会長職を務められる方々には、微力ながらサポートをさせていただきます。

最後になりますが、関係諸機関、OB会員の皆様、そして私を支えてくださいました会員の皆様に感謝申し上げます。一年間ありがとうございました。

委員会事業報告

総務委員会

委員長 清水 一裕

本年度は当会発足五十周年の節目の年でありました。周年事業であります五十周年記念式典の企画や運営があり、私自身初の委員長ということもあり大変不安ではございましたが、自分自身を成長させるためのチャンスだと考え、身の引き締まる思いでお引き受けいたしました。

活動内容としましては、月例役員会の運営、円滑な通年行事の設営と進行、事業計画書、事業報告書、役員会議事録等各種フォーマットを作成し、資料形式の統一を行いました。

周年事業である発足五十周年記念式典につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により前回の周年事業とは違う新しい形式にて企画することができました。本年度のテーマである「継続推進」を念頭に、今まで先輩方が繋いでくださった歴史や想いを絶やすことなく継続し、コロナ禍であっても皆様に楽しんでいただけるような形式に変化し推進していくそんな記念式典を目指しました。

企画時から多くの役員を巻き込み全員で作りに上げていくことができました。五十周年記念誌、当日上映いたしましたメモリアルムービーなど、会員全員のご協力がなければ作り上げることは出来ませんでした。当日の運営につきましても皆様のご協力により無事執り行うことができました。誠にありがとうございました。また情報共有の難しさや当日起こりうる

トラブルなど、あらゆる場面を想定し備えておかなければならなかったと思います。事前準備の大切さを痛感いたしました。至らぬ点も多々ありましたが、その都度たくさんの方に助けていただき、相互扶助の精神を強く感じることができました。この一年大変多くのことを学ばせていただきました。

◆卒業式

本年度の卒業式は、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、会場をハイブ長岡交流サロンに変更し、二〇二一年四月九日(金)に例年とは違った形式にて執り行いました。





二〇二二年十一月十二日(金)、ホテルニューオータニ長岡様にて御来賓十九名・OB会員五十名をお招きして、長岡鉄工業青年研究会の発足五十周年記念式典を執り行いました。

昨今の会員数減少や新型コロナウイルスの感染防止対策など不安な点が多々ありましたが、卒業生の皆様より青研での思い出や現役会員への激励のお言葉をいただきました。懇親会が行えなかったことは大変残念ではありますが、卒業生の新たな門出を会員全員で無事に送り出すことが出来ました。

◆発足五十周年記念式典

御卒業会員 七名
 会員 二十四名

(高尾 博仁)



長岡鉄工業青年研究会 発足50周年記念式典・講演会

令和3年11月12日 於 ホテルニューオータニ長岡



◆臨時総会

オミクロン株が主流となっている新型コロナウイルス感染症第六波の影響により、例年中越鋳物青年研究会と合同で行われていた新年会は中止とし、会場をハイブ長岡交流サロンに変更し、二〇二二

御来賓 十九名
 OB会員 五十名
 現役会員 二十五名

(橋本 直輝)

りましたが、当日無事に執り行うことが出来ました。新型コロナウイルスの為に御来賓の方々及びOB会員の皆様との交流は限られたものとなってしまったのは心残りではありますが、無事に執り行えたことは会員皆様のご協力のおかげです。誠にありがとうございました。

御来賓の方々及びOB会員の皆様には次回五十五周年に向けてさらなるご支援とご協力をお願いいたします。

年二月四日(金)に次年度役員を決定する臨時総会を執り行いました。コロナ禍での開催で通常とは異なりましたが、たくさんの方の御礼申し上げます。審議につきましても皆様のご協力により円滑にすすめることができました。誠にありがとうございました。

出席 二十二名
 委任状による出席 五名
 計 二十七名
 (猪俣 洋志)

◆定期総会

二〇二二年四月九日(土)、定期総会を行う予定です。

渉外・研修委員会

委員長 長谷川 孝

二〇二一年度の渉外・研修委員会は、会長方針である「継続推進」をテーマに事業を通し会員が外部との関わりの中で共に学び成長することを目標にスタートしました。

まず着手したのが、五十周年記念品としてオリジナルの一合升の製作です。升の一面は会員企業の協力の元、型を製作し現役会員たちで焼印を行い、五十周年記念式典にて参加者の方々に配布いたしました。型の仕様検討から試作、量産に向けて改良を行う際は、試行錯誤がありました。意見を出し合い無事完成することができました。

講師には MOLp 三井化学株式会社の宮下友孝様、JAXA 宇宙科学研究所宇宙飛翔工学研究系教授の戸部裕史様よりご話いただき、現地参加ができない方でも参加ができるよう当初となるオンライン形式でのセミナーを実施いたしました。九月と十月には長岡蒼柴ライオンズクラブやき支部様・長岡大学レオクラブ様との共同事業として令和四年に創建三百年を迎える蒼柴神社の参道整備を実施しました。一回目二回目共に天候にも恵まれ、二回目の作業後には蒼柴ライオンズクラブやき支部様のご厚意により長岡の歴史を学ぶ会、懇親会にも参加させていただきました。他団体の方々と交流が図れる良い機会となり、今後も交流を継続していきたいと感じました。

十一月十二日には当会発足五十周年となる記念式典と同日に、ホテルニューオータニ長岡にて五十周年記念講演会を執り行いました。講師に株式会社浜野製作所代表取締役CEO 浜野 慶一様を迎え社長就任後の度重なる苦難を乗り越え現在に至るまでの経緯をご講話いただき、ご参加していただいた御来賓OB会員の方々にも関心を持っていただけたように感じました。

十一月二十六日には長岡市立新町小学校にて、新町ものづくりワークショップに参加し前回に引き続きステンレス製のオリジナル貯金箱の製作を行いました。参加者が五・六年生ということもあり難易度的に簡単なものではという懸念がありましたが、勘合の調整や装飾に時間を掛け、こだわりのオリジナル貯金箱を製作していたのが印象的で、子供たちにもものづくりの楽しさを伝えられたように感じ

ました。最後になりますが、収束の目処がつかないコロナ禍のなか、これら多くの事業を遂行できましたのも、会長をはじめ、両副会長、役員、会員の皆様、渉外 研修委員の皆様のお陰と思っております。一年間、本当にありがとうございました。

◆五十周年記念品製作

五十周年記念品として、オリジナル一合升の製作を行いました。一面の焼印は会員企業の協力の元、型の試作から量産までを行いました。製作した升は五十周年式典にて参加者へ配布いたしました。

木に焼印を入れるという行為に知見が無い中、型の仕様検討から始めて、先ずは試作品の製作を行いました。量産に向けて改良を行う際には、試行錯誤がありましたが、委員と共に意見を出し合い、無事に形にする事が出来ました。ご協力いただいた三役はじめ、委員の皆様にお礼申し上げます。(高坂 壮)

◆五十周年記念セミナー

令和三年十月八日(金)、当会初となるオンライン形式でのセミナーを開催いたしました。第一部講師には MOLp (MI-TUI CHEMICALS MATERIAL ORIENTED LABORATORY) 宮下友孝様、第二部講師には JAXA 宇宙科学研究所宇宙飛翔工学研究系教授 戸部裕史様より、それぞれオンラインにて講演いただき、会員の皆様には、NADeC BASE 及びオンラインにてご視聴いただきました。講演では、宇宙工学分野での金属材料の研究の動向や、樹脂メーカーが手掛け



る新たなものづくりの動向等のテーマで、貴重なお話しを聞く事ができました。会場参加者からは活発な質疑があり、普段の仕事とは違うものづくりの面白さを感じていただけたのではないかと思います。コロナ禍の中、会場へご参集いただきました会員の皆様、お忙しい中リモートでご参加いただきました講師及び会員の皆様へお礼申し上げます。

参加者 十四名
 (内リモート参加二名)

◆蒼柴神社参道整備共同事業

長岡蒼柴ライオンズクラブやき支部様・長岡大学レオクラブ様との共同事業として、令和三年九月二十五日と十月三十日の二回に渡り、令和四年に創建三百年を迎える蒼柴神社の参道整備を実施い



たしました。

一回目・二回目共に天候に恵まれ、参道の石畳の整備と参道脇の草刈り等を行いました。また、二回目の作業後には、長岡蒼柴ライオンズクラブやき支部様のご厚意により、長岡の歴史を学ぶ会、懇親会にも参加させていただきました。

本交流事業を通して、様々な団体が中心となり、長岡市民で長岡の歴史を守り、繋いでいこうという熱い思いを感じる事ができました。

このような機会を作っていただいた、長岡蒼柴ライオンズクラブやき支部様と長岡大学レオクラブ様、また、お忙しい中ご参加いただきました会員の皆様に感謝申し上げます。

(長谷川 孝)

◆五十周年記念講演会

令和三年十一月二日(金)、ホテルニューオータニ長岡にて、株式会社浜野製作所代表取締役CEO浜野慶一様を講師に迎え、今年度活動方針である『継続推進』をテーマに五十周年記念講演会を執り行いました。

講演では、社長就任後の度重なる苦難を乗り越え、現在に至るまでの経緯をご講話いただきました。逆境を乗り越え事業を『継続推進』していく事の大変さと大切さを実感させられるお話しであった様に感じました。

当日は急な予定変更にて、リハーサルが出来ないというトラブルもありましたが、スケジュールが押すことも無く、無事に終える事が出来ました。ご協力いた



いただきました、講師及び会員の皆様、

お忙しい中ご参加いただきました御来賓及びOB会員の皆様へ心より感謝申し上げます。

参加者

御来賓 十三名

OB会員

四十一名

会員 二十六名

(長谷川 孝・大石 克輝)

◆新町ものづくりワークショップ

令和三年十一月二十六日(金)、長岡市立新町小学校にて、新町ものづくりワークショップに参加致しました。

前回に引き続き組立貯金箱の製作のワークショップを行いました。今回は高学年が対象と言うことと、勘合部の改良を行った事で、組立作業自体は数分で終わってしまう子がほとんどでしたが、参加した子供たちは、装飾に時間を掛けていたり、勘合の調整に最後までこだわっていたりと、それぞれが自由に楽しんでいたので印象的でした。

次回以降は子供の学年に合わせて、多少難易度を変える等、検討の余地がある様に感じました。

短い準備期間の中で、御協力いただいた会員の皆様、お忙しい中ご参加いただきました会員の皆様に感謝申し上げます。

参加者

新町小学校児童五〜六年生

第一部・七名



第二部・九名

会員 六名

(長谷川 孝・高坂 壮)

実行委員会

委員長 長谷川 雅利

発足五十周年という節目となる二〇二一年度、実行委員長を務めさせていただきました。私自身は当委員会の経験がなく、最初は不安でいっぱいでしたが、三役、所属委員、ご協力いただいた会員の皆様のおかげで一年間実行事業及び活動をやり遂げることができました。

井上会長が掲げた活動方針「継続推進」を念頭に、当会がこれまで継続できた意義を考え、また今後の事業や活動を推し進める良い経験や新たな課題を発見することができました。

今年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けましたが、卒業生追い出しゴルフコンペ、五十周年記念ゴルフコン

ペ、屑鉄集め及び福祉・児童養護施設寄付贈呈式を行うことができました。

卒業生追出しゴルフコンペは昨年度開催できなかった為、二〇一九年度と二〇二〇年度卒業生の合同にて開催しました。当日は生憎の天候ではありましたが、卒業生と現役会員とがプレーを楽しみ、気持ちよく卒業生を追い出せたのではないかと存じます。

五十周年記念ゴルフコンペでは五十周年という節目に相応しく沢山の来賓やOB会員の方々にご参加いただきました。感染防止の為、集合写真の撮影や懇親会といった参加者全員が一堂に会する場を設けることはできませんでしたが、参加者相互に親睦を図れたと思います。周年コンペということで苦勞もありましたが設営に携わることができ、とても貴重な経験となりました。

屑鉄集めでは厳しい市況の中で今年度も多くの企業様から沢山の浄財を御提供いただきました。毎年恒例のこの活動もまもなく四十年目を迎えるということで、多くの皆様からの支えがあり、継続していることと存じます。

頂いた浄財を物品に換え、今年度も十二月に福祉・児童養護施設へ贈呈して参りました。子供たちや施設利用者の笑顔に触れ、屑鉄集めの活動意義を改めて感じました。ご助力いただきました三役、役員、会員の皆様、そして実行委員の皆様により感謝申し上げます。

◆卒業生追出しゴルフコンペ

二〇二一年四月十七日(土)に、柏崎カントリークラブにて卒業生追出しゴルフ

コンペを二〇一九年度卒業生と合同で開催いたしました。本年度は新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、表彰式はゴルフ場にて行いました。

当日は生憎の空模様となりましたが、卒業生はコンペ六名・表彰式六名とご参加をいただき、現役会員はコンペ十二名・表彰式十四名と多くのご参加をいただきました。そして、ゴルフを通して卒業生の皆様との最後の事業として大変盛り上がり、良い思い出ができたのではないかと思います。皆様からご協力いただき深く感謝しております。誠にありがとうございました。

参加者 ゴルフ 十八名

表彰式 二十名

優勝者 松田 勇介 様

(石田 和人・高坂 諒・長谷川 雅利)



◆五十周年記念ゴルフコンペ

二〇二一年七月十日(土)に長岡カントリークラブにて五十周年記念ゴルフコンペを開催いたしました。今年度は五十周年を記念したゴルフコンペに相応しく沢山の来賓やOB会員の方々にご参加いただきました。



当日は若干の雨にも降られましたが、楽しい緊張感の中、親睦を図れたのではないかと存じます。コロナウイルスの影響を踏まえ、表彰式は執り行わず、後日、成績表及び景品をお届けしましたが、多くの方が景品を獲得され、喜んでいただきました。

又、当コンペを記念した『かわらばん特別号』を作成し、配布いたしました。コロナ禍での開催で通常とは異なり、試行錯誤のなかでの運営ではございませ

たが、皆様のご理解とご協力のおかげで無事に事業を行うことができました。心より御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

参加者 来賓 七名

OB 三十二名

オプザーバー 一名

会員 十四名

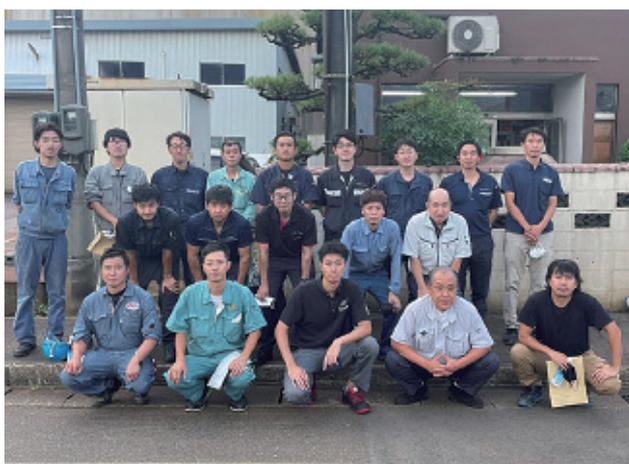
参加者合計 五十四名

優勝者 田中 正人 様

(石田 和人・高坂 諒・高坂 滯也)

◆屑鉄集め

二〇二一年九月二日(休)に、会員参加者十七名、屑鉄提供企業三十三社にて屑鉄集めを実施いたしました。年々会員数減少の中、トラック六台ものご協力をいただきました。当日は夏の暑さが残るなかでの作業でしたが、多くの方々よりご協力いただき、事故や怪我もなく無事に作





二〇二一年十二月十七日(金)に、福祉・児童養護施設に寄付贈呈式を行いました。今年度も新型コロナウイルス感染症拡大により訪問日の数日前に訪問人数を減らすなどの影響もありましたが、当日は子供たちや施設利用者の皆様から温かく迎えていただきました。

◆福祉・児童養護施設寄付贈呈式

業を完了できました。また、屑鉄集め当日の実施時間前に、当会会員ではない何者かが回収予定の企業様を訪ね、ご用意いただいた屑鉄を持ち去るという問題が発生したため、対策を考え次年度以降に反映いたします。最後に、屑鉄集めへのご理解、ご協力を賜った提供企業様、回収作業、トラック提供を行っていただいた会員の皆様に心より感謝申し上げます。(浅井 学・池田 成輝・讃岐 恭一)

柿が丘学園様では、訪問した私たちの顔を見るや嬉しそうな表情と、開封した贈呈品で遊ぶ子供達の沢山の笑顔を見ることができ、お礼に色紙を頂きました。

もみの木工房つばさ様には、作業用椅子と扇風機を贈呈しました。所長と施設利用者の代表の方からお礼の言葉を頂き、皆さんの作業の様子を見学させていただきました。

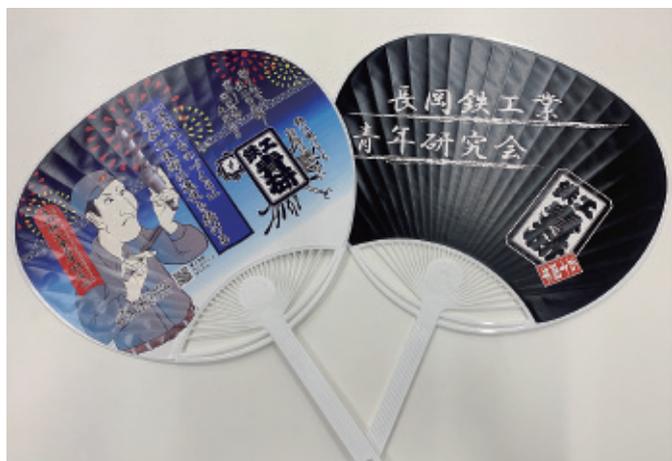
双葉寮様では、学習机や知育玩具を贈呈しました。寮長と園児からお礼の言葉を頂き、子供達の生活の様子を聞いたり一部を見学をさせていただきました。

子供達や施設利用者の笑顔を見ることができ、屑鉄集めは大変意義があり、今後絶えず継続していきたい事業だと改めて感じました。ご協力いただいた皆様、大変ありがとうございました。(長谷川 雅利)

まつり委員会

委員長 真保 匠人

一時的に落ち着きを見せたコロナウイルスでしたが、第四波により感染者数が再度増加し、二年連続で長岡まつり平和祭慰霊神輿渡御は中止となってしまいました。発足五十周年と記念すべき年でしたので、非常に残念に思っております。メイン事業であります神輿渡御は中止となってしまうことが、神輿記念品の製作や、長岡神輿協議会様の発案により、各団体の神輿・提灯をアオーレ長岡のカドマにて展示する機会があり、当会の青研神輿を一般の方々に見ていただく良い機会になりました。



発足五十周年神輿記念品として、オリジナルうちわを製作しました。今年度は神輿渡御もなく渡すことが叶いませんでしたが、次年度以降は神輿渡御にご協賛いただいている、OB会員の皆様や企業の方々にお配りし、オリジナル神輿と共に一体感のある神輿渡御になることを

◆発足五十周年神輿記念品製作

次年度こそは新型コロナウイルスも落ち着き、例年通り慰霊神輿渡御が執り行えることを願います。会員減少が危惧される中、慰霊神輿渡御の経験豊富な現役会員も少なくなっており、従来通りの運営ができるか不安ではございますが、伝統ある青研神輿を例年より更に良いものとするべく、関係各位にご協力賜りますよう、今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願いたします。

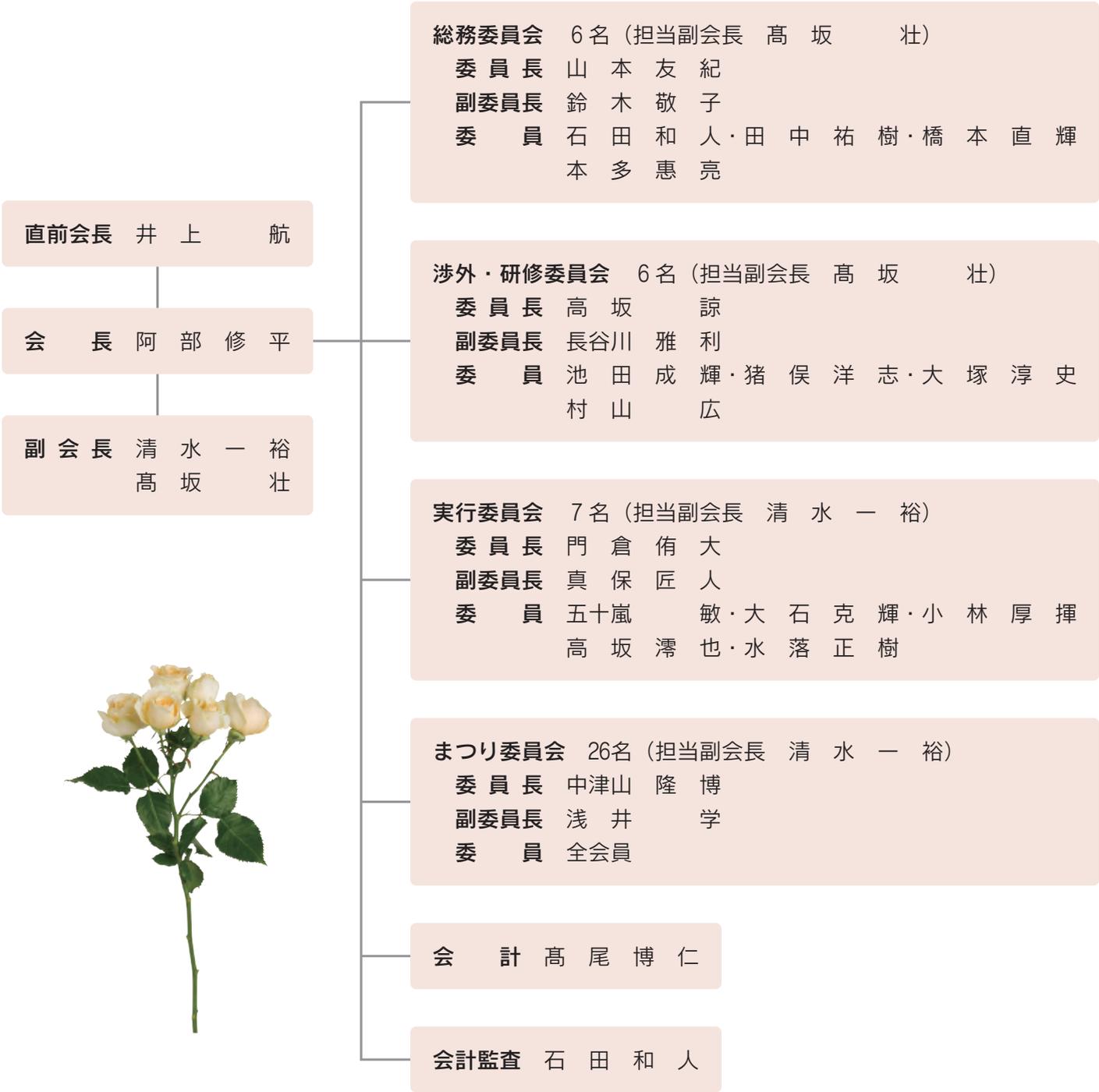
◆長岡まつり平和祭 神輿展示及び提灯展示

期待しております。



毎年八月一日に開催しております、長岡まつり平和祭慰霊神輿渡御は、二年連続で新型コロナウイルスの感染拡大により行うことができませんでした。長岡神輿協議会様の発案により、例年の慰霊神輿渡御の代わりに、神輿・高張提灯の展示を行わないかとお話をいただき、アオーレ長岡ナカドマにて当会の青研神輿・高張提灯を展示いたしました。歴史ある青研神輿を一般の方に間近で見いただく、良い機会になりました。

2022年度 長岡鉄工業青年研究会組織図



祝 ご卒業

小笠原 昭範
有限会社 小笠原製作所

長谷川 孝
株式会社 Case

南 聡史
株式会社 科学計器研究所

讃岐 恭一
株式会社 丸菱電子

(以上四名)

新入会員の紹介

二〇二二年度四月以降入会

高尾 博仁
株式会社 アオヤマテックス
〒九四〇一-一四八
長岡市青山町一九二
TEL 〇二五八-二三三-〇八五
FAX 〇二五八-二三三-二〇〇
昭和六十一年九月十四日

池田 成輝
株式会社 池田機工
〒九五四一-〇七六
見附市新幸町一〇番九号
TEL 〇二五八-六六一-〇六七八
FAX 〇二五八-六六一-〇六七九
平成四年三月二十四日

二〇二二年度四月以降入会

本 田 恵 亮
株式会社 淵本鋼機
〒九四〇一-〇四六
長岡市四郎九四一七一
TEL 〇二五八-三五一-三三三三
FAX 〇二五八-三三三-二四四七
平成元年十一月五日

水 落 正 樹
株式会社 丸菱電子
〒九四〇一-二〇二
長岡市鉄工町一三一〇
TEL 〇二五八-二八一-三三三三
FAX 〇二五八-二八一-三三三三
平成二年五月二十七日

村 山 広
株式会社 横山銅鉄店
〒九四〇一-〇一三
長岡市原町二二一九
TEL 〇二五八-二四一五六四六
FAX 〇二五八-二四一七三三九
平成元年十二月二十八日